

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス いろは第三単位		
○保護者様評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 11月 13日		
○保護者様評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日 ~ 2024年 11月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○プログラム内容の充実 多様な活動内容	日々のプログラムをひと月毎に作成し、毎日異なった職員で担当し作成している。そのため、担当職員独自の個性あふれる活動が組み込まれている。 室内活動と外出支援など季節に合わせて多様な活動を取り入れている。また、子どもの成長過程で、必要とされるスキルの習得を先の成長を考慮して取り入れ、子ども達が楽しく参加できる工夫をしている。	プログラム内容の振り返りを行い、子ども達に合った活動であったか等の検討を精査し、より活動内容を充実させていく。 子どもの苦手としていたり伸ばしていきたいことを分けて活動を検討し作成していく。
2	○同年代の他児との関わり	今年度から事業所が開所したこともあり、ほぼ全員が同じ年齢。同じ年齢で過ごすことでお互いが協力しあう意識が高まっている。また、年齢に合わせた統一された目的の活動等の取り組みをしている。	同じ年齢であることから発達への幅を明確にしやすい為、個別での対応にも繋げていく。 子ども達同士が協力し合い、お互いの個性を伸ばしていけるような活動等を取り入れていく。
3	○相談しやすい環境	保護者様と相談しやすい関係性を築けるよう、送迎時に日々の様子等の情報共有や保護者交流会、参観などを通して保護者様に寄り添うことを心掛けている。また、懇談時等で聞き取りやアセスメントシートを活用し、保護者様からの要望やニーズについての聞き取りを行っている。	日々の情報共有を継続し、保護者様が相談しやすい関係性をより深めていく。 また、保護者交流会や参観、懇談を通して保護者様の困りごとや相談に寄り添って支援をしていく。
4	○専門的知識の向上への取り組み	社内研修や勉強会、外部研修へ積極的に参加し、学び合ったことに関する話し合いを行い、事業所でどう取り入れていくか等についての検討を行っている。また、日々の支援についても話し合いを行い、個々の課題や事業所の取り組みを検討している。定期的に他事業所の職員にも相談を行い多様な視点からのアドバイスもいただいている。	新しい知識をたくさん学べるよう情報収集を行い、専門性の向上に努めていく。 事業所として取り組んでいることへの専門的な知識の習得の為、話し合いで課題等をまとめ、追求できる研修や勉強会に参加していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○活動のスペースが狭い	規定されているスペースは確保しているが、机が配置されており身体を動かすスペースとして十分ではない。	活動によって机を片づける、端に避ける等の対応をしながらスペースを確保していく。また、机の種類やスペースの使い方を随時検討し、より子どもが安全で過ごしやすい環境を整えていく。 活動により公園など公共の場を利用する等、子ども達の活動環境を整えていく。
2	○保護者様同士の関わり	保護者様同士が関わり合う機会が少ない。また、保護者様やきょうだいが参加できるイベントがない。	保護者様交流会や保護者様参観などを実施しているが、多くの保護者様が参加できるように複数日程や保護者様の参加しやすい日程を調整していく。また、ご家族やきょうだいが参加できるイベント等を検討していく。
3	○地域との触れ合い	外出の機会が少なく地域との関わりが少ない。	長期休みや土曜日を中心に外出し、公共施設で過ごす機会を提供していく。また、子どもが参加したいと思える体験ができる機会を検討していく。